

令和7年7月23日
廿日市市 教育部 教育総務課

廿日市市立中学校屋内運動場空調設備整備に関する
サウンディング型市場調査

調査結果に関する報告

1. 調査目的

廿日市市内の中学校において、空調整備により、子どもたちの学習と生活の場となる教育環境の向上と、災害時に指定避難所となる機能の強化により地域住民の生活環境の整備を目的とします。

設備においては、最短の工事期間でかつ早期に整備可能な手法並びに工事費の抑制を主眼においた手法で実施したいと考えており、様々な手法について民間事業者の皆様と対話を通じて効率的かつ効果的な整備を検討するため、公募型サウンディング調査を実施しました。

2. 対象施設

施設名	所在地	建築年	アリーナ面積(m ²)	ステージ面積(m ²)
廿日市中学校	桜尾3-9-1	昭和60年	1,073	100
七尾中学校	平良2-2-34	昭和50年	1,043	116
阿品台中学校	阿品台東1-1	昭和56年	1,067	100
野坂中学校	地御前北1-3-1	平成2年	1,062	105
四季が丘中学校	四季が丘2-1-1	平成3年	1,062	106
佐伯中学校	津田69-1	平成6年	968	142
大野東中学校	大野414	昭和61年	1,089	109
大野小中一貫校	大野原4-2-60	平成17年	979	118
宮島小中一貫校	宮島町779-2	平成29年	821	101
吉和小中一貫校	吉和1555-1	平成元年	576	95

3. 調査概要

調査にあたっての実施経過及び各参加状況は、次のとおりである。

内容		実施経過・参加状況
募集期間		令和7年6月2日(月)から6月13日(金)
対話の実施	実施日	令和7年6月16日(月)～23日(月)
	参加者数	10社(うち県内9社、県外1社)

4. 調査結果

提出された意見の概要を以下にまとめる。

(1) 本事業への関心について

(ア) 自社の役割

- ・ 建設分野(設計・施行) 3社
- ・ リース分野 2社
- ・ 空調機器製造分野 6社
- ・ エネルギー供給分野 1社

※重複回答あり

(イ) 関連実績について

- ・ 屋内運動場へのリース実績が数多く示された。また、教室への空調設置事業を行った実績も示された。

(2) 整備について

(ア) スケジュールについて

- ・ 設計～施工期間 6カ月～10カ月
- ・ 空調機器の製造納期 2～6カ月
※屋内運動場への空調設置が進んできており、納期の逼迫が懸念される。
- ・ 室内の利用停止期間 数日～2か月
- ・ キュービクル 6カ月以上

(イ) 空調方式について

- ・ EHPはコストメリットがあるが、既存キュービクルの容量不足を考慮し、停電時にも利用できる自立型GHPを推奨する意見が多く示された。
- ・ 一般的な空調方式とは異なり、大風量で冷風を届ける空調方式や、冷気を低速で吹き出すことにより、居住域に冷氣層を生成する置換空調方式の提案も示された。

(ウ) 断熱改修について

- 屋根裏への遮熱シート貼りが比較的低コストで短工期で施工できると意見が示された。他には、屋根面への遮熱塗料施工、窓への遮熱フィルムや遮光カーテンを施工する案も示された。

(エ) 費用について

- 施工条件により工事費は大きく異なるが、概ね EHP、GHP、自立型 GHP の順で高コストとなる。
- キュービクルを増設する場合、3,000 万円程度必要となる。

(オ) 整備手法について

- 費用の平準化や早期実施を考慮し、リース方式の提案が多く示された。

(3) その他

- プロポーザル期間については現地調査に時間を要するため、3カ月程度必要であると意見が示された。
- 事前調査が可能であれば、図面の提供を受け現地調査を行いたい意向が示された。